

令和5年度 鹿屋市地域防災リーダー会議 事例報告  
**防災キャンプの企画と実施**

～花岡地区の取り組み～



花岡地区 防災リーダー  
 国立大学法人鹿屋体育大学  
 坂口 俊哉

**鶴羽地区防災キャンプ2023**



実行委員会の立ち上げ (8/30) から  
 実施 (10/29) まで2ヶ月

**南九州新聞 (2023年11月01日)**

十五夜相撲大会や横引きは、大隅半島でも町内会や自治会単位で広く実施されてきたが、子どもたちも少なくなり、開催できない地域もある中で、鶴羽町内会では毎年開催、今年はコロナ禍で4年ぶりに再会し、子どもたちが元気よく横引き、相撲を楽しんでいた。



写真＝防災キャンプも

この日は、花岡学園4年生以上を対象に、鶴羽地区防災キャンプが行われた。

• <http://weboosumi.com/article.php?id=6199593909>

**鶴羽地区防災キャンプ**

- プログラム：消火体験、炊き出し体験、HUG(避難所運営ゲーム)
- 参加者：保護者3名、小学生8名、当日参加2名
- スタッフ：自然の家職員2名、大学生3名、消防団員9名、**防災リーダー4名**



## 協力体制

- 鶴羽地区町内会  
十五夜行事への相乗り
- 大隅肝属地区消防組合  
水消火器の利用申請
- 鹿屋市消防団花岡分団  
出動の要請、費用弁償
- 花岡学園（小中学校）学校運営協議会
- 大隅青少年自然の家
- 鹿屋市安全安心課
- 鹿屋体育大学



## 防災キャンプ日程

時間	町内会イベント	防災プログラム
8:00	集合 茅刈り	
9:00	昼食準備	開会式 終了後 水消火器体験
10:00	綱作り	炊き出し体験（豚汁+湯煎炊き込み）
11:30		昼食スタート
13:00	昼ごはん後片付け	HUGスタート
14:00	会場設定	
15:00	町内巡行	HUG終了 閉会式
16:00	綱引き	
	終了後 土俵作り	
17:00	相撲大会開始	希望者は相撲大会参加

## 防災キャンプを終えて

- 企画・運営に関わることで「学び」が大きい  
自治体や関連団体との調整、制度や手続きの理解
- 「防災教育」+「地域連携」の効果  
市役所、町内会、消防団、小学校、地域住民
- 大学生、保護者にとって「学び」の場  
炊き出し、HUGの支援、飲ん方。

## 私が学んだこと考えたこと

- リアルな体験が正しい理解へつながる  
学校単位の避難訓練の学習効果は？
- 自然の家の利用者≠社会の縮図  
子供→ファミリー  
→高齢者を含む地域社会
- 楽しいことは頼まれなくても  
楽しさを伝えることの大切さ
- 学校教育との連携が課題  
防災教育は学習指導要領にも



